

2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年6月7日(土)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	67名
会場	江戸川区臨海球技場				
大会名	第2ブロック審判実技研修会				
指導員名	川澄正史、岡田元成				

指導会当日の概要

- ・土曜日夜の開催に関わらず参加者は予想30名を超え、意識の高さが感じられた。
- ・7Bの選抜チームをお呼びし、2B対7B、15分8本x2面のトレーニングマッチに3人または4人の参加者が審判として入る形で行われた。
- ・打合せ、試合の監視、振返りに参加し適宜アドバイスを実施。
- ・審判育成指導員は1, 3, 6本目を担当した。他の試合は2BのSI3の方々が担当された。
- ・2B審判部指導担当:6名(SI3取得者:4名)

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部の育成指導員派遣事業に関しては、毎回、優秀な指導員の方を派遣頂き、十分な成果を上げていただいております。
- ・今回も、川澄氏、岡田氏に、ご丁寧なご指導を頂き、大変、感謝しております。
- ・今後とも、この様な研修会を実施したいと思いますので、引き続き宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・参加者皆さんは我々の話に真剣に耳を傾け、僅かでも不明な点は質問してくれた。
- ・不明事項を直ちに質問し、次の試合に向けた準備をされる方が大変に多かった。
- ・振り返りのアドバイス後に、早速次の担当試合で実践された方が多かった。
- ・初心者ながらも審判センスの良い方が何名もおられ、今後の2B審判部の充実が予感できた。

指導会写真



2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年6月21日(土)	実施ブロック	第3ブロック	参加人数	27名
会場	大泉さくら運動場				
大会名	3ブロック選抜強化試合				
指導員名	片岡利文、山下英治				

指導会当日の概要

- ・ブロック選抜強化試合を使用した審判研修会であった。
- ・各クルー4名から5名で各々主審、副審、第4審判を3ピリオドで交代しながら担当。
- ・試合後に指導員より試合の振り返りを行った。
- ・参加者は加盟チームの半分より各1名ずつの27名の参加となった。

ブロックコメント

- ・育成指導員としてお越しいただいた片岡利文氏・山下英治氏による丁寧かつ分かりやすいご指導で、非常に有意義な研修になった事、大変感謝しております。
- ・ご参加いただいた皆さんが真剣に取り組んでいただき、それぞれが今後の審判活動の糧になったのではないかと考えております。
- ・今後もこのような研修会を継続していきたいと思っております。

指導員コメント

- ・一人審判に慣れている方が多かったため、ポジショニングに興味を持ち、自身の担当試合以外でも積極的に質問をしてきて、向上心がみられた。
- ・普段一人審判が多いとのことで、参加者のレベルは幅広かった。
- ・3審制に不慣れの中、試合に対して真摯に取り組んでいたと思います。
- ・実技研修を継続していき、3審制に慣れていくことも必要と感じた

指導会写真



2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年4月5日(土)	実施ブロック	第10ブロック	参加人数	58名
会場	オンライン(Zoom使用)				
大会名	開幕前研修				
指導員名	片岡利文				

指導会当日の概要

- ・オンライン(Zoom使用)での座学研修
- ・開幕前研修として、①2024/25競技規則改正について②副審の任務について③オフサイドについての講義を行った

ブロックコメント

- ・今回初めて開幕前研修を企画、実施いたしました。
- ・競技規則改正の伝達会などこれまで出来ていませんでしたが、今回の研修で実施することが出来ました。ありがとうございました。
- ・今後も引き続き、開幕前研修会にて競技規則改正の伝達会が出来ればと思っています。
- ・今回は副審の役割ということで講義いただきました。
- ・今後は実践研修も検討したいと思います。
- ・また、共有できる事例があればということで参加者よりご意見いただきましたので、簡単にこれまで発生した事例の共有なども出来ればと思っていますのでその際はご協力お願いいたします。

指導員コメント

- ・今回オンラインでの開催で、ブロック加盟チームより1名以上の参加であった。
- ・講義については、競技規則の改正、副審の任務、オフサイドについてで、基礎的な内容であったが、こちらの質問にも回答をいただき、多くの方に積極的に参加いただき、理解されている様子が窺えた。
- ・ブロックの大会前にこのような研修を開催することで、競技規則の理解度を深めれるので、とても有効だと感じました。

指導会写真



2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年11月11日(火)	実施ブロック	第13ブロック	参加人数	72名(含女性2名)
会場	zoom				
大会名	13B審判研修会				
指導員名	川澄正史、平瀬まさみ				

指導会当日の概要

- ・13ブロックからの説明リクエスト「規則改正説明、第4の審判員の役割」「試合前にすべきこと」に応えるべく、パワポ、動画を用意して70分強で平瀬・川澄が説明した。
- ・ブレイクアウトルームを利用して参加者約5名ずつが意見交換した。
- ・会次第は、13B開会挨拶、審判育成指導員による説明、臨席された村上少年連盟審判部長挨拶、13B閉会挨拶。
- ・後日、参加者から13Bに寄せられた質問に対し審判育成指導員から回答した。

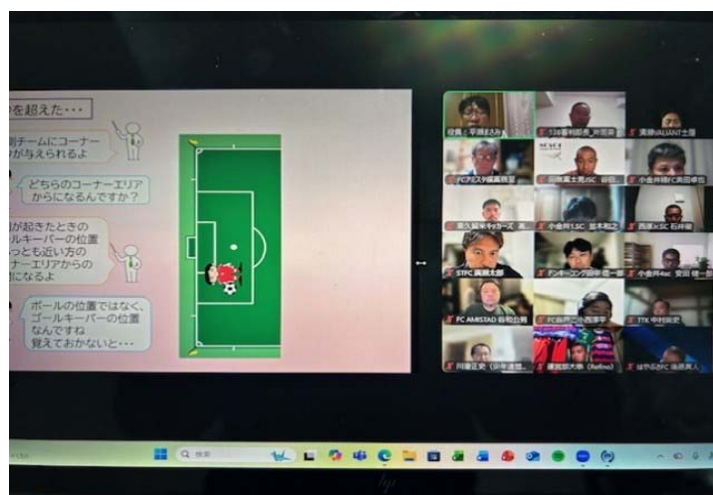
ブロックコメント

- ・13ブロックでは3審制の全試合対応に向けて、副審の基本的事項の教育及び2025～2026ルール改正に伴う改正点周知を目的に審判講習会を開催した。
- ・休日の昼間に実技を含めた講習会を実施予定であったが、少年連盟が全日本から新ルールを適用することとなった経緯もあり、今回は早急な実施とより多くの審判員への周知・教育を考えWEBによる開催とした。
- ・当日はブロック所属各チーム1名以上の合計72名の審判員が参加して、講習会を実施することができた。
- ・ルール改正点に加えて、副審・第4審が実施すべき事項がイラストを加えてわかりやすく説明して頂き、非常に有意義であったと感じている。
- ・特に少年連盟の帯同審判においては、第4審の役割は正確に理解されていなかったと思われ、講習会参加によって、理解が進んだものと考えている。
- ・事後の質問も複数あり、参加した審判員の意欲も感じられた。
- ・新規の審判員を増やしていくためにも、副審経験者を増加させ、そこから主審を目指す人材を発掘していきたいと考えており、今後も定期的な審判講習会を開催していきたいと考えている。

指導員コメント

- ・zoom参加者の顔を拝見しましたが、皆さん真剣に参加されていました。
- ・ブレイクアウトルームでは活発な意見交換があったとお聞きしました。
- ・今研修会内容が今後のレフェリングの参考になりましたら幸いです。
- ・平瀬からは、競技規則改正と試合前に行うことについて話しをさせて頂きましたが、画面越しに皆様、真剣に聞いてくださりました。
- ・今日の内容を頭に入れて、試合に望んで頂けたらと思います。試合前の打ち合わせからも、審判はチームなんだ！と感じて頂けたと思います。
- ・皆様の今後の活躍を楽しみにしています。今日は、平日の夜、長い時間、ありがとうございました。

指導会写真



2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年10月19日(日)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	61名
会場	オンライン(Zoom使用)				
大会名	審判座学研修会				
指導員名	川澄正史				

指導会当日の概要

- ・第4の審判員の役割をテーマとし、zoomを利用して70分間の講義を行った(含接続調整10分)。
- ・zoomは14ブロックが用意した。
- ・内容は塩崎審判部長挨拶、川澄講義(ブレイクアウトルームBORでの話し合い有り)、村上審判部長挨拶、塩崎氏挨拶。
- ・参加者61名、役員からは指導員川澄、および村上部長・平瀬氏が聴講参加。
- ・14Bからのリクエスト「中央大会審判員向けの講義と同内容を」に対し、平瀬氏作成のppt(全体会で10分ほど講義)を用い、所々に補足を加える形で講義した。

ブロックコメント

- ・今年度第1回目の座学研修会では、「第4の審判員の役割」をテーマに取り上げました。
- ・試合中、ただ座っているだけで終わらないように、フィールド外のテクニカルエリアやベンチの監視、スムーズな選手交代のコントロールなど試合全体の円滑な運営を支える上で欠かせない重要な任務を担っていることを深く学びました。
- ・またブレイクアウトルーム機能を用いて参加者を10グループに分け、各々が積極的に意見交換することで、4審の役割についての理解を多角的に深めることができました。
- ・参加者計61名が、最後まで集中力を切らず真剣な姿で学び合うことができ、今後の審判活動の質を高める上で非常に有意義な研修会となりました。

指導員コメント

- ・塩崎審判委員長はじめ審判部スタッフの適切なご準備により、会は予定通り問題なく進行・終了した。
- ・各BORではベテランが若い方々をリードする形で話し合いが行われたようである。
- ・数名による話し合い結果の披露からは、第4の審判員任務につき理解が進んだように思えた。
- ・事前に寄せられた質問に対してはpptにて解説した。
- ・事前送付の方法は、効率よく、効果的に理解が進む方法だと言える。

指導会写真



2025年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2025年11月22日(土)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	27名
会場	東大和市清原中央公園				
大会名	小平招待大会				
指導員名	片岡利文、武山茂				

指導会当日の概要

- ・2面を利用し、各試合を指導者が観て試合都度アドバイスをを行う形式。
- ・主審は近くで観る意識をもち動くこと、副審はオフサイドラインに正確につくこと、およびゴールラインをボールがこすときには、確実にゴールラインで監視し判定することの実践をした。
- ・参加者は27名(含中学1年生1名)。
- ・ブロック加盟チームより各1名ずつ希望者が参加。

ブロックコメント

- ・今回27名が参加し、中学1年生の4級審判員から3級審判員のベテランまで幅広い世代のメンバーが各人のレフェリングレベルに合わせて、アセッサーから気づきを得られました。
- ・特にこれまで、直接指導を受けることがなかったメンバーからは、基礎から丁寧に学べて本当に参加してよかったと喜びの声を多数いただきました。

指導員コメント

- ・参加した審判員は4級審判員で経験が浅い方でしたので、できた点はほめることも忘れずにアプローチしました。
- ・指導ポイントは多岐にはせずに、課題に沿ったなかで、1～2つぐらいまでにしぼりコメントしました。
- ・審判員から話もできるような雰囲気を作り、対話型で臨んだ。
- ・全体的に意欲的にみな実践しており、今後もこのような会が出来たら良いと思いました。(武山)
- ・チャレンジしたことなどを聞き出しながら、試合の振り返りを行いました。
- ・今回の指導ポイントであるポジショニングを中心に振り返りを行いながら、個々が感じている課題点について、アドバイスをしていきました。
- ・参加者は、意欲的に振り返りを行い、普段感じている質問などを積極的に聞いており、良い雰囲気、活発な振り返りが行えて良かったです。

指導会写真

